令和 2 年度日本赤十字豊田看護大学キャンパスライフアンケート報告書

1. アンケート結果の要約

本アンケートの結果では、本学のキャンパスライフ全体について、利用度・満足度ともに概ね高い評価結果でした。

1）学部生の結果

全学年を通して、特に「図書館サービス」「大学からの各種情報提供」について、高い評価結果でした。学年別の特徴は以下のとおりです。

・1年生は、「クラブ・サークル活動支援」の利用度が若干低い結果でした。

・2年生は、「クラブ・サークル活動支援」の利用度と満足度が若干低い結果となり、また、「進学相談」「進路相談」の利用度が低い結果でした。

・3年生は、「進学相談」「進路相談」「奨学金貸与に関する相談」「ハラスメント相談」の利用度と満足度が若干低い結果となりました。

・4 年生は、他学年と比較して「就職ガイダンス」の利用度と満足度が若干低い結果となりました。

2）大学院生の結果

概ね全項目について利用度・満足度ともに高い評価結果でした。「メンタルヘルス相談」のみ若干満足度と利用度が低い結果でした。

2. 明らかになった課題

1）クラブ・サークル活動の支援

令和2年度は新型コロナウイルス感染対策上の理由からクラブ・サークル活動を停止していました。活動停止による学生活動への支障等、支援方法の検討を今後の課題と考えます。

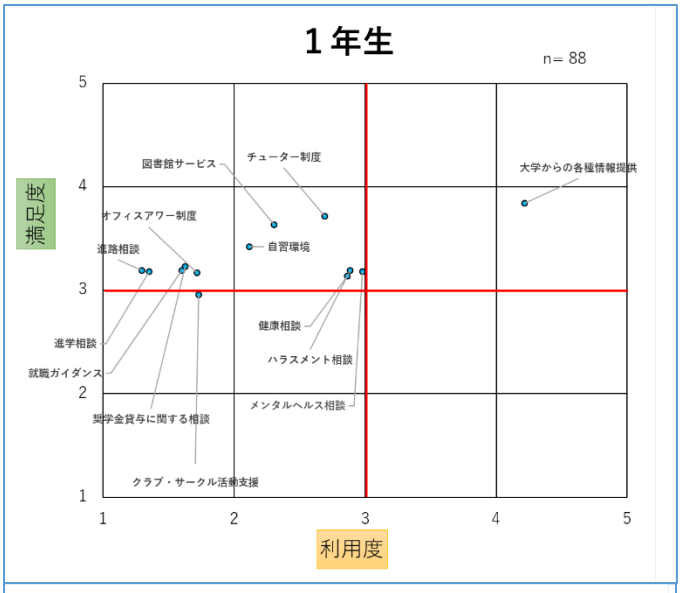
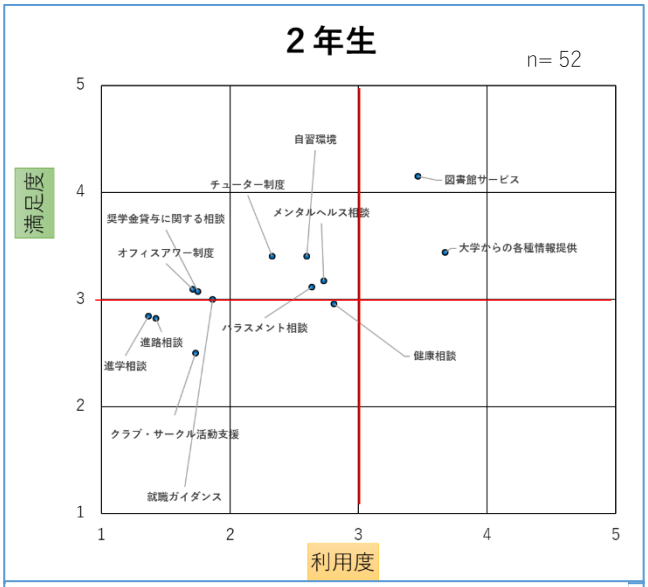
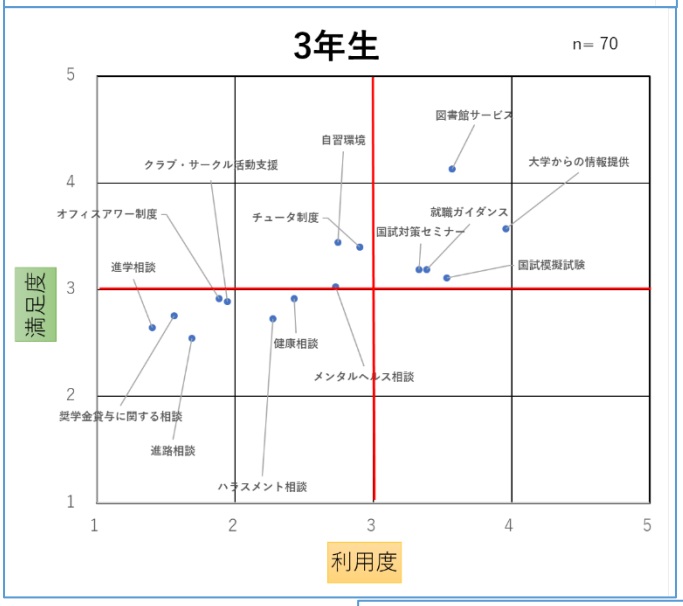
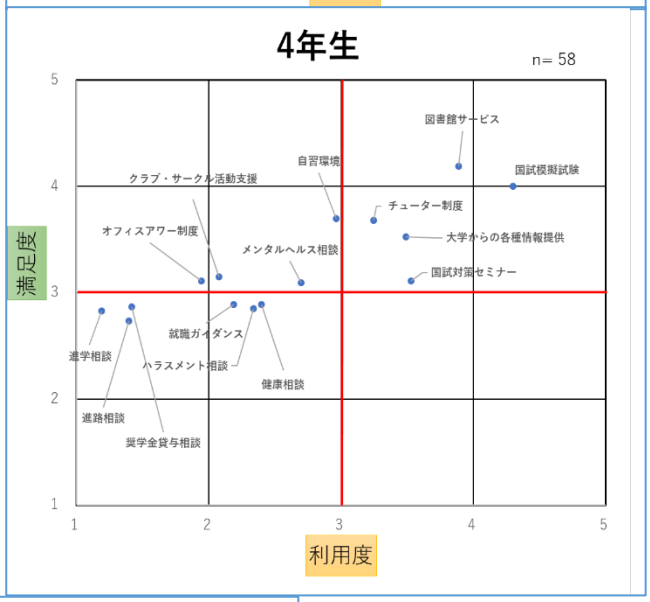
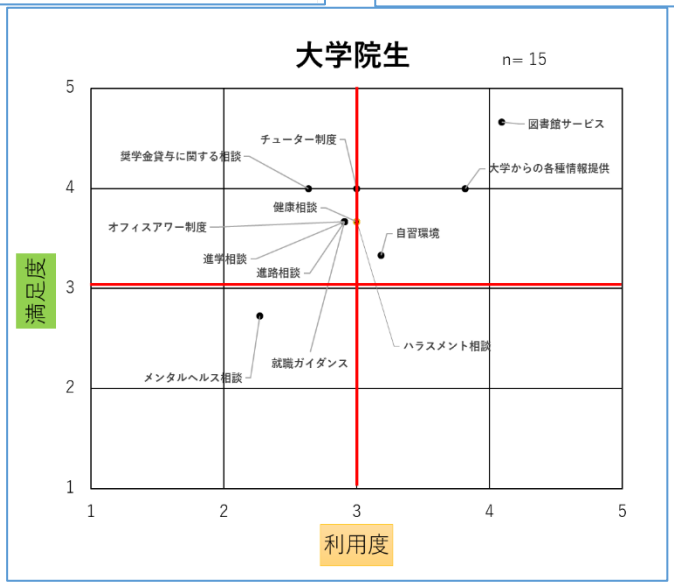
2）相談に関する対応

感染対策による学内入校制限の設置やオンライン授業の実施により、相談の機会や窓口の利用に不便があったと考えます。コロナ禍のため来学ができない状況の場合でも、相談窓口の設置方法の検討やその案内方法の工夫を今後の課題と考えます。

3. 次年度の改善事項

上記 2 の課題に基づき、関係部署での検討を進め、感染対策を踏まえた支援や対応との両立に向けた改善を図ります。具体的には、クラブ・サークル活動の支援については自治会との協力を強化し、相談対応についてはオンライン相談等の整備と案内を進めます。

令和 3 年 8 月 16 日　自己点検・評価委員会

キャンパスライフアンケート結果

【調査対象】後期に在籍する学部学生及び大学院生。ただし、休学者は対象から除外。
【調査方法】Microsoft　Forms を使用した自記式アンケート調査（無記名）
【実施期間】令和 3 年 2 月 9 日（火）～2 月 26 日（金）
【回 答 率】全体 49.8%（1 年生 68.2%　・2 年生 39.4%　・3年生 52.6%　・4 年生 39.0%　・大学院生 53.6%）
【そ の 他】・「メンタルヘルス相談」「ハラスメント相談」「健康相談」は利用度ではなく利便性を問いている
・1～5 の 5 段階評価とし、5 が最大評価値である
・分布図内のマーカーは、回答の平均値を示している